

山陰道の建設促進について

【国土交通省】

提案・要望

1 事業促進

- 益田・田万川道路
- 大井・萩道路
- 木与防災
- 俵山・豊田道路

2 新規事業化

- 「三隅～長門」間
(都市計画決定の手続き中)

3 計画段階評価の着手

- 「豊田～下関」間
- 「益田～萩」間のうち残る区間

現状と課題

◇交流基盤の充実・強化

【地方創生】

- ・山陰地域の骨格をなす山陰道には未だ多くのミッシングリンクが存在
- ・企業誘致や市場の拡大、観光の振興など、九州圏をはじめとした広域的な経済交流や連携を図る上で、早期のネットワークの構築が必要

山陰道 鳥取県～山口県 約380km

山口県内の山陰道現況(約115km)

- ・着手率 **46%**
(鳥取県100%、島根県96%)
- ・整備率 **1.7%**
(鳥取県85%、島根県63%)

※着手率：供用済区間及び事業中区間の全体延長に対する比率

ヒトやモノの流れを
飛躍的に拡大



- 開通区間
- 事業中区間
- 未着手区間

◇強靱で信頼性の高い道路ネットワークの構築

【国土強靱化】

- ・近年激甚化、頻発化する災害により、各地で幹線道路が寸断
- ・国土強靱化に向けて、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築が急務

頻発する災害

① 土砂崩壊による道路寸断

② 土砂崩壊による道路寸断

③ 河川氾濫等による浸水

④ 河川氾濫等による浸水

⑤ 河川氾濫等による浸水

事前通行規制区

⑥ (大雨) 事前通行規制

⑦ (越波) 事前通行規制

現道の課題

① 下関市

② 下関市

③ 萩市

④ 萩市

⑤ 長門市

⑥ 阿武町

⑦ 阿武町

——	山陰道 開通区間
○○○○	山陰道 未整備区間
——	山陰道に並行する国道等

通行止めとなった場合、大幅な迂回が生じる

地方創生や国土強靱化を力強く進めるためには、その基盤となる山陰道の早期整備が不可欠

高速交通体系の構築に向けた山陰道の整備により期待される様々な効果

観光の振興(観光客の増加)

④元乃隅神社(長門市)



③角島大橋(下関市)



②川棚温泉(下関市)



①関門医療センター(下関市)
<3次救急医療機関>



⑤道の駅センザキッチン(長門市)



⑥萩城下町(萩市)



⑦ABUキャンプフィールド(阿武町)



産業の活性化



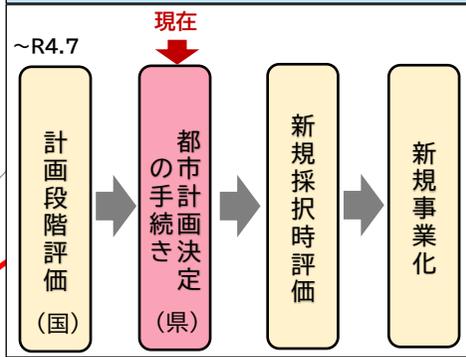
⑧三隅地区工業用地 [造成中](長門市)



販売促進・販路拡大



◇ 道路調査の流れ(三隅～長門間)



凡 例	
○ ○ ○ ○	未 着 手
● ● ● ●	都市計画決定の手続き中
■ ■ ■ ■	事 業 中
— — — —	供 用 済

